

音階

音階(スケール)とは？

一定の規則にしたがって音を並べたもので
英語では「Scale(スケール)」と呼びます。

ものすごく簡単にいうと
「ドレミファソラシド」などの音列のことです。

音階を構成する主要な音



主音(トニック)

その名の通り、調性(Key)を決定づける「主役」の音です。

英語では「Tonic(トニック)」といいます。

そのキーの中で最も安定感のある音とされ

主音以外の音はすべて

最終的に主音に引き寄せられる性質を持っています。

属音(ドミナント)

属音とは、主音に対して完全5度上に存在する音です。

英語では「Dominant(ドミナント)」といいます。

属音は、主音の次に安定感のある音で
音階の中でもっとも強く
主音に引き寄せられる性質を持っています。

下屬音(サブドミナント)

下屬音とは、主音に対して完全5度下に存在する音です。

英語では「Subdominant(サブドミナント)」といいます。

調性内では不安定な響きを持つ音で、安定を求めてすぐ下の第3音に解決しようとする性質を持っています。

導音（リーディングトーン）

導音とは、主音の短二度下に存在する音です。

英語では「Leading Tone（リーディングトーン）」と呼びます。

調性内で最も不安定な響きを持つ音で
半音上の主音に強く引き寄せられるという性質を持っています。

長音階 (Major Scale)

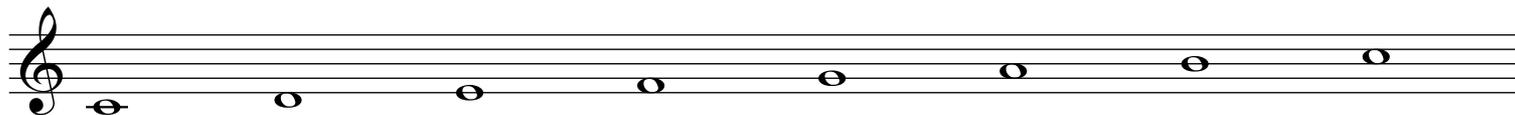
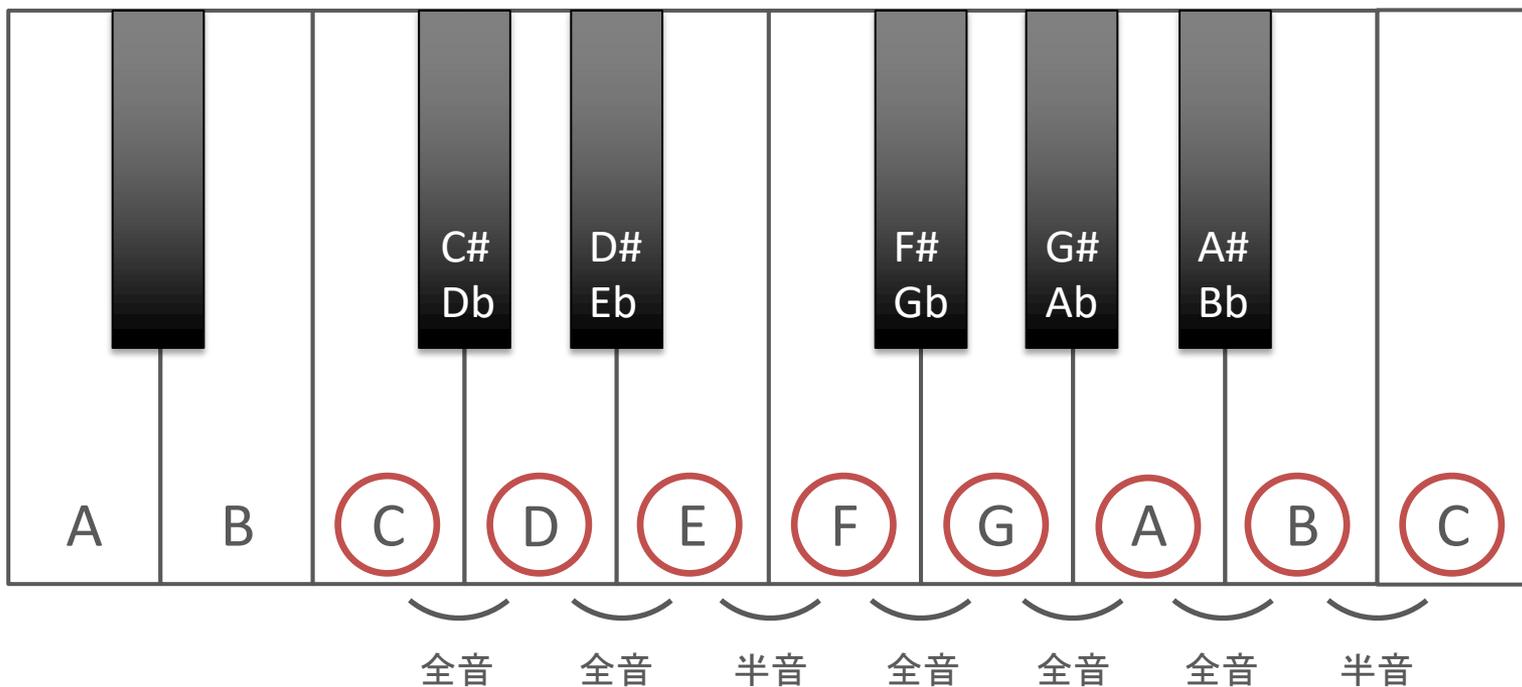
「Major Scale (メジャースケール)」ともよばれ
すべての音階の中でもっとも基本となるものです。

- 全音 - 全音 - 半音 - 全音 - 全音 - 全音 - 半音

の順に音が並んでいます。

長音階 (Major Scale)

長音階の構造



短音階 (Minor Scale)

「Minor Scale (マイナースケール)」とも呼ばれ
その音列によって以下の3つの種類に分類されます。

- 自然短音階 (Natural Minor Scale)
- 和声的短音階 (Harmonic Minor Scale)
- 旋律的短音階 (Melodic Minor Scale)

自然短音階(Natural Minor Scale)

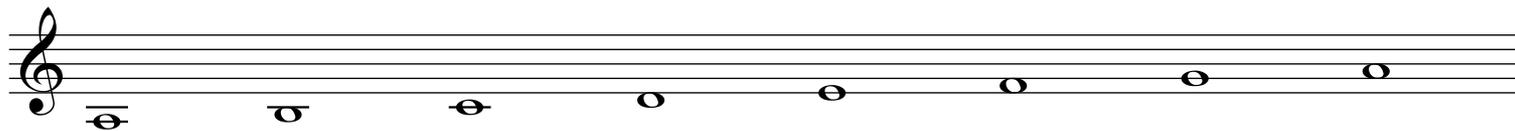
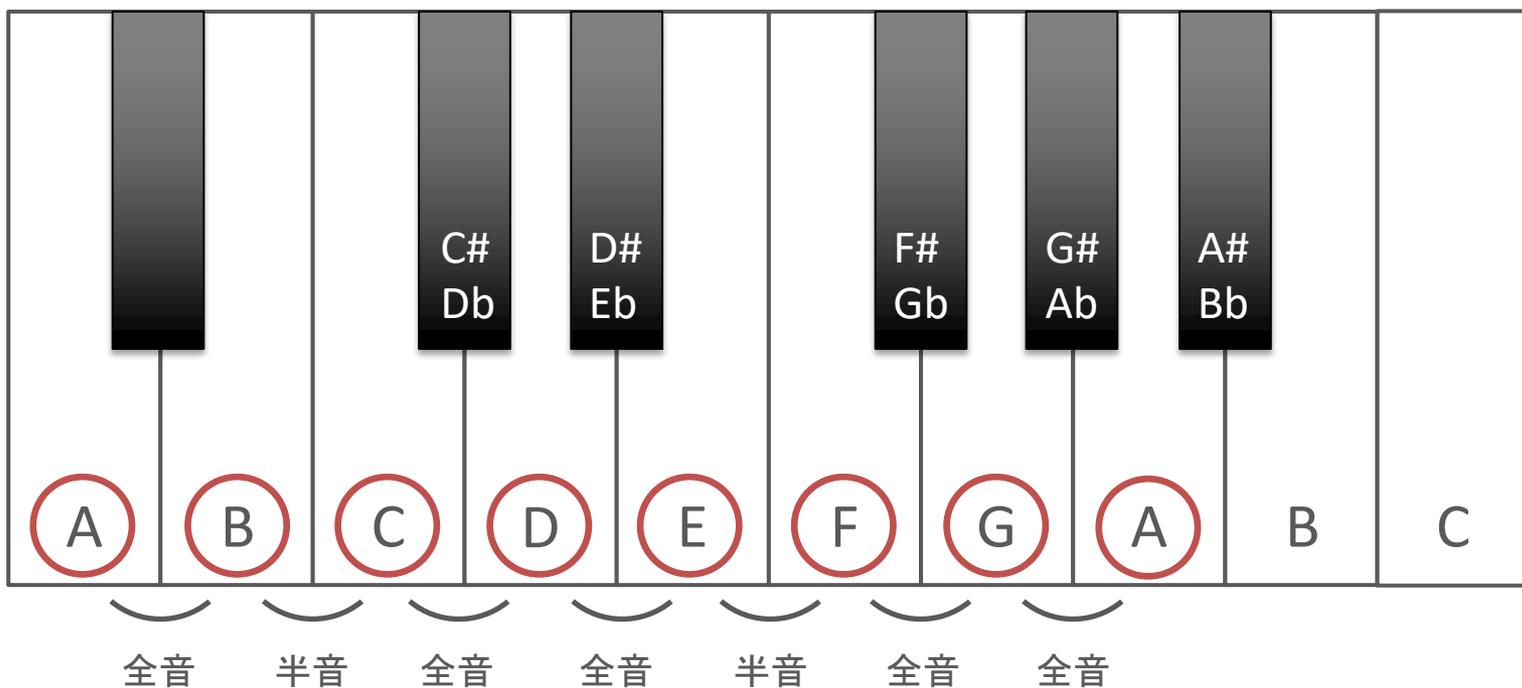
長音階をそのまま短三度下にスライドさせたスケールです。

- 全音 - 半音 - 全音 - 全音 - 半音 - 全音 - 全音

の順に音が並んでいます。

自然短音階 (Natural Minor Scale)

自然短音階の構造



和声的短音階(Harmonic Minor Scale)

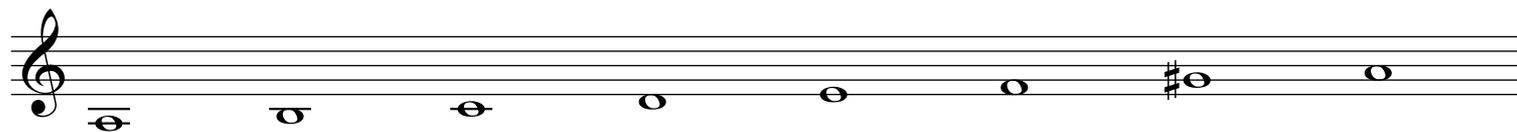
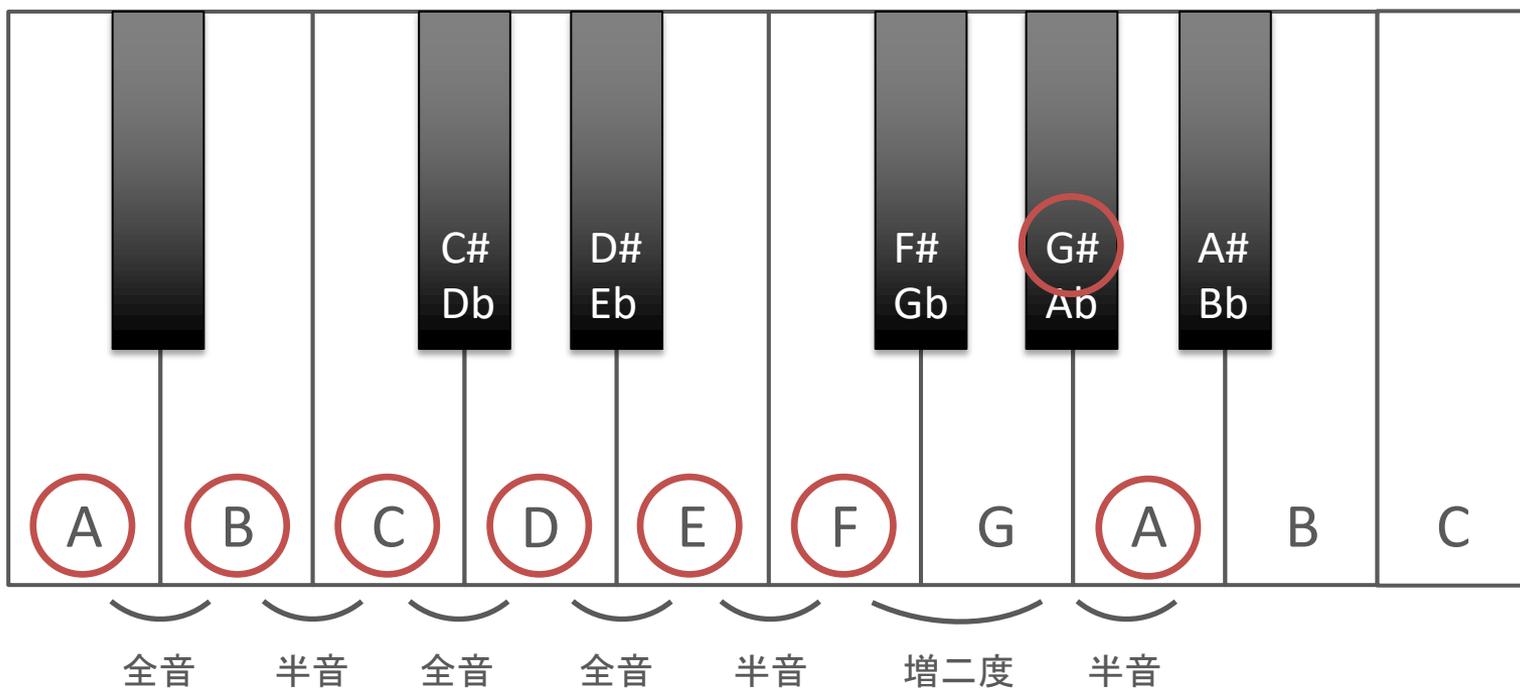
自然短音階には存在しない「導音」を作るために第7音をシャープさせたマイナースケールです。

- 全音 - 半音 - 全音 - 全音 - 半音 - 増二度 - 半音

の順に音が並んでいます。

和声的短音階 (Harmonic Minor Scale)

和声的短音階の構造



旋律的短音階(Melodic Minor Scale)

和声的短音階で導音を作る際

第六音と第七音の間に「増二度」の音程がうまれました。

一般的に

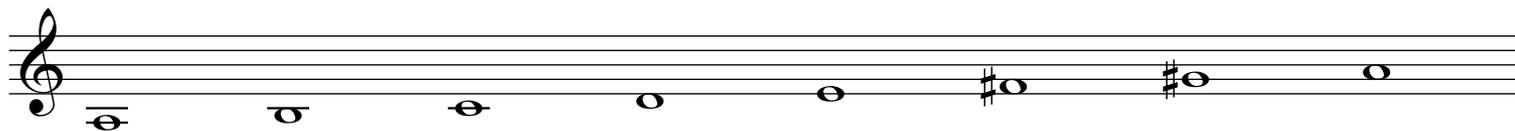
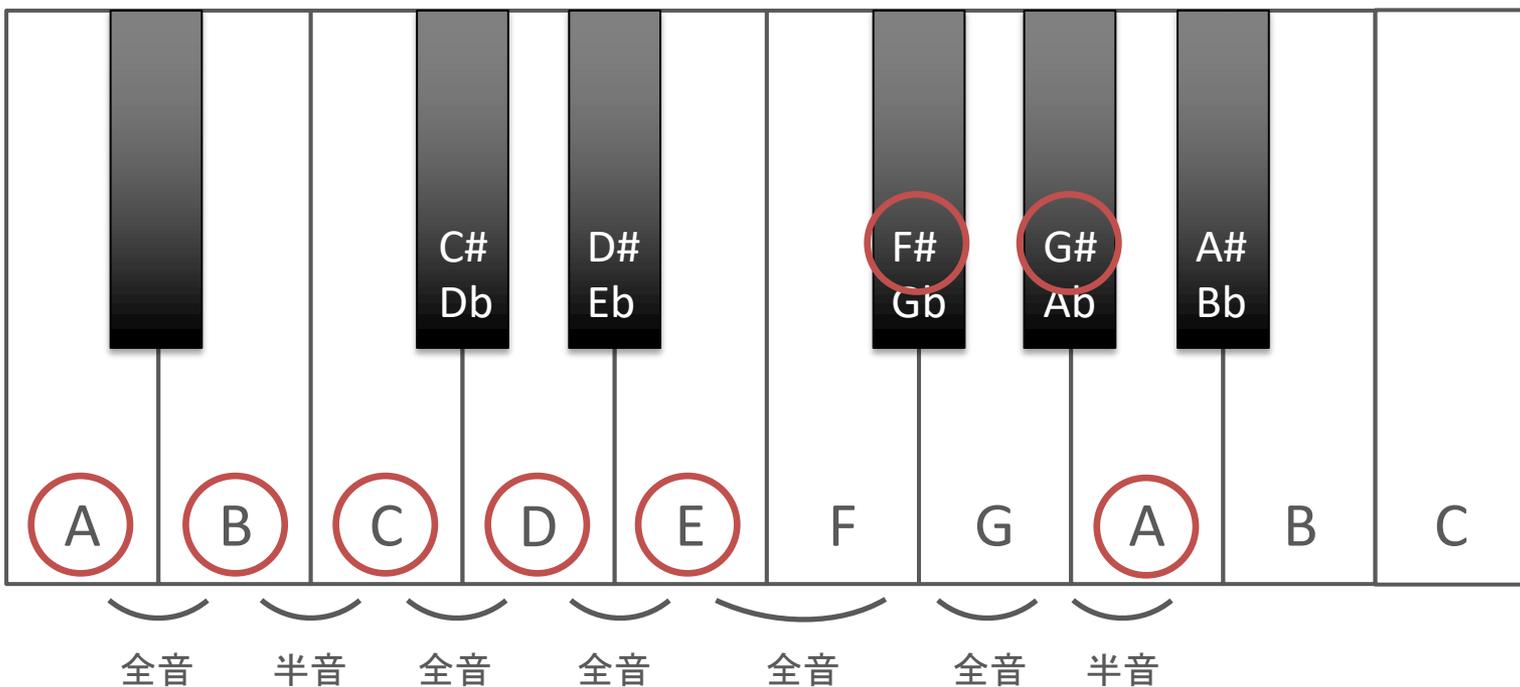
増音程は歌いにくい(=旋律として不自然さが出る)とされておりそれを解消するために生まれたのが旋律的短音階です。

● 全音 - 半音 - 全音 - 全音 - 全音 - 全音 - 半音

の順に音が並んでいます。

旋律的短音階 (Melodic Minor Scale)

旋律的短音階の構造



音名と階名

音の高さをあらわす呼び方には2種類あります。

ひとつは「音名」、もうひとつは「階名」と呼ばれるものです。

音名

絶対的な音の高さ(=実音)を表す言葉です。

調性に関係なく、特定の音は必ず固定の名称で呼ばれ
いわゆる「固定ド」と呼ばれるものです。

OTOxNOMAでは、とくに注意書きがない限りは
英語の音名「CDEFGAB」を用いて解説していきます。

※ 音名に関しては「音名と変化記号」という記事で
詳しく解説しています。

階名

相対的な音の高さを表す言葉です。

メジャースケールにおける主音を「ド」
上主音を「レ」といった具合に
スケール内の音の位置付けを表します。

- Cメジャースケールでは、Cの音が「ド」
- Gメジャースケールでは、Gの音が「ド」

という具合に、キーによって「ド」の音が変わるのが特徴で
いわゆる「移動ド」と呼ばれるものです。